



# steamfast

powerful. natural. intelligent.®

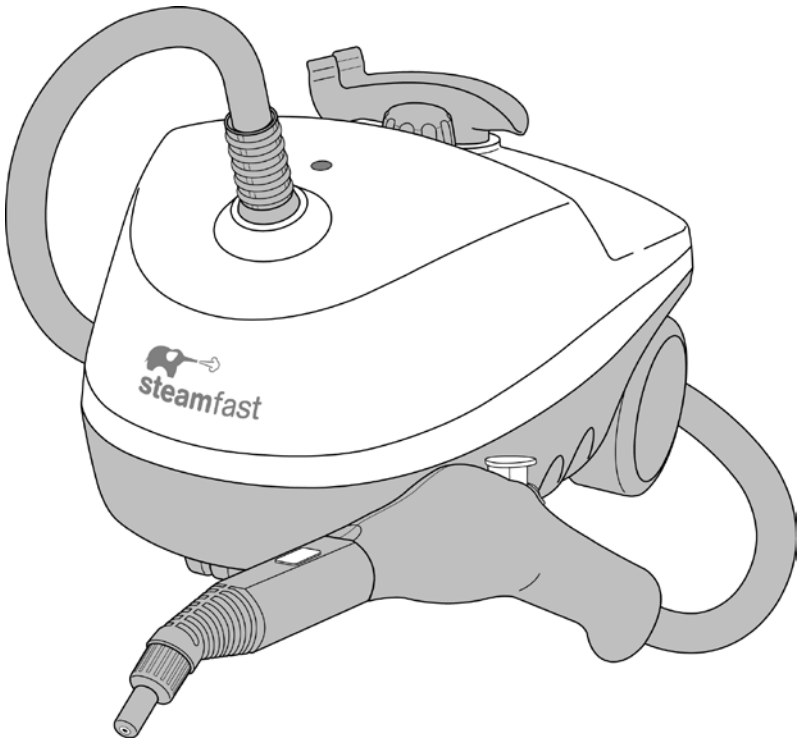
---

## Multi-Purpose Steam Cleaner スチームファーストDX

MODEL SF-370WHDIR

---

### Owner's Guide 取扱説明書



Please read all instructions before use.

**KEEP YOUR RECEIPT FOR WARRANTY PURPOSES.**

ご使用前に取扱説明書をすべてお読みください。

# 安全にご使用いただくために。



警告: 発火、感電、ケガのリスクを避けるため、電化製品を扱うときは、常に次の注意事項を守ってください。

警告: 感電の危険性を減らすため、本製品は、たこ足配線をせず直接壁のコンセントに差し込んでください。電源プラグは確実に差し込んでください。ゆるんだコンセントは使用しないでください。電源プラグの改造や危険なことはしないでください。

本製品は日本国内の家庭用です。業務用ではありません。

## ご使用前に取扱説明書をすべてお読みください。

### ⚠ 危険

電化製品は電源を切っても帯電しています。感電の恐れがありますので以下にご注意ください。

1. ご使用後は必ず電源プラグを抜いてください。
2. 落下の恐れがある場所、または水を扱う場所でのご使用や保管をしないでください。
3. 本体や電源プラグに水をかけないでください。
4. 水中に落とした場合はすぐに電源プラグを外してください。水の中に手を入れないでください。

### ⚠ 警告

ヤケド、感電、ケガの危険性を避けるために

1. スチームクリーナーを取扱説明書の指示に従ってご使用ください。
2. 延長コードが必要な場合は、適切な延長コード(15アンペア仕様)を使用してください。ご使用中に延長コードを破損させたり、つまずいたりしないようコードの位置に気を付けてください。
3. コンセントに電源コードの電源プラグを差し込むときは、ご家庭の電力が15アンペア以上であることを確認してからご使用ください。
4. 回路の過負荷を避けるため、本製品をご使用の場合は高いワット数の電化製品を同時に使用しないでください。
5. 感電の危険性から身を守るため、本体に水や液体をかけないでください。電源コードの破損の原因になるようなことはしないでください。(コードが傷み火災・感電の原因になります。)(引っ張らない、無理に曲げない、ねじらない、吊り下げない、束ねない、挟み込まない、ドアに引っ掛けない、加工しない)
6. コンセントから抜くときは電源コードを引っ張らず、電源プラグをつかんで抜いてください。
7. 本体を落としたり、破損させたりして電源コードが傷んでいるときは使用しないでください。感電の恐れがあるため、本体を分解しないでください。故障の際はカスタマーセンターにお問い合わせください。誤った組み立てはご使用時に感電する恐れがあります。
8. お子様、ペット、植物の近くでご使用する場合は取り扱いにご注意ください。電源プラグを差し込んだまま、本体を放置しないでください。

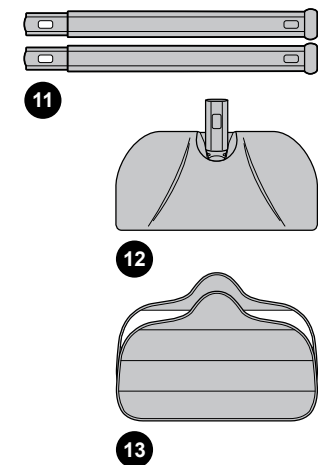
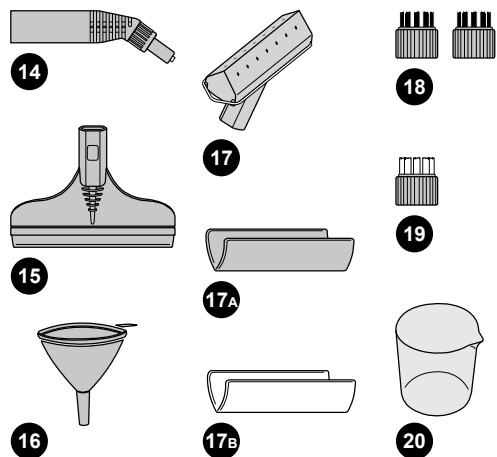
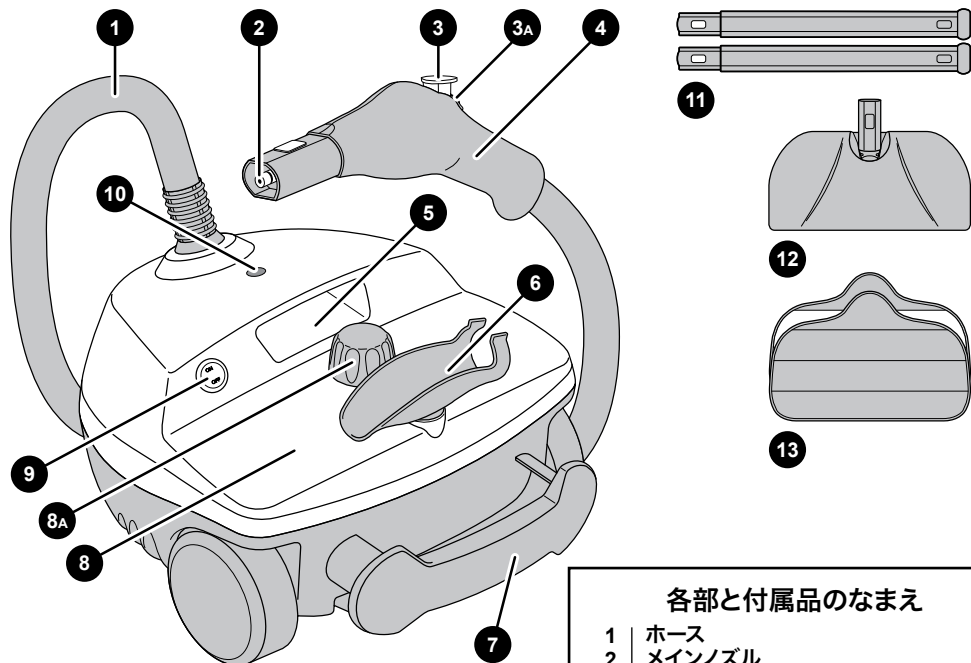
# 安全にご使用いただくために。

9. 本製品は安全にご使用できる大人がご使用になるか、大人と一緒にご使用ください。
10. 引火性のあるものそばでは使用しないでください。(灯油、ガソリン、線香、ベンジン、シンナー、タバコの吸殻、トナーなどの可燃物など)(爆発や火災の原因となります)
11. 本製品の付属品のみ(SF-370WHDIR)ご使用ください。他の付属品のご使用は故障の原因になります。
12. 電源プラグを差し込んだ状態で電源スイッチを「ON」にした時、電源ランプが赤くついているのに青い加熱ランプがつかない場合、本体は正しく動いていません。ご使用を止めて、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をご参照ください。
13. 給水タンクに水を入れるときは常に電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜いてください。本体をご使用の際は給水タンクに適量の水を入れてご使用ください。
14. 給水タンクに水を入れるときは水道水を入れてください。(掃除用洗剤等を入れると本体が、
  - 破損するまたはケガの原因になります。)
  - ミネラル(鉱物)の蓄積を防ぐためには蒸留水または脱塩水のご使用をお勧めします。給水タンクは1,500ml以上入れないでください。
15. タンクキャップを外すときに吹き出すスチームでヤケドをしないためには: 使用後完全に本体を冷ましてください(5~10分)。スチームボタンを押しながら残っているスチームを全部出してください。
16. ご使用の際は本体の位置に注意して電源を入れ、メインズルから噴き出すスチームにかからないようにしてください。メインズルが塞がれているときは稼働させないでください。
17. 熱くなっている金属部分や、給水タンクの水、スチームに触れるとヤケドの恐れがあります。メインズルに触ったり、本体稼働中に付属品を取り付けたりしないでください。本体稼働中にモップヘッドの底に触ったり、マイクロファイバークロスパッドを手で取り付けたりしないでください。本体を逆にするときは注意をしてください。給水タンクの水は高温になっています。
18. 階段などの平坦ではない場所での取り扱いには十分ご注意ください。
19. 初めての場所にスチームをかけるときは、取扱説明書で材質の確認をしてから行ってください。材質がわからない場合は、ご使用前に目立たない場所で試してからご使用ください。
20. フロアコーティング加工のない床や素焼きのセラミックでの使用はできません。変形、表面の破損、あるいはフックスがけされた床の表面の光沢がなくなる恐れがあります。
21. スチームがけをするときは決して一定時間一箇所に本体を置かないでください。長時間スチームが当たった箇所が湿って床の表面が傷む場合があります。
22. 本体使用中は、熱くなった表面に電源コードが触れないようにしてください。保管するときはゆるく束ねてください。
23. スチームクリーナーは完全に冷まし(約30分)、給水タンクの水を空にしてから保管してください。
24. ガラス製品、ガラス窓、鏡にはスチームを同じ場所に2秒以上あてないでください。高温のスチームがガラスの熱膨張を起こし、ガラス表面が割れ、ケガをする可能性があります。
25. モップヘッドの可動域は80°です。(P20参照)可動域を超えてモップヘッドを動かすと、モップヘッドの故障の原因となり、スチームが正常に出なくなります。
26. ボイラーを空焚きしないでください。
27. 使用後、本体の温度を下げるために著しい温度差のある場所に置かないでください。故障の原因になります。
28. ホースを引っ張らず、持ち手を持って移動してください。ホースが破れる原因となります。
29. 本体の上に乗らないでください。

取扱説明書は大切に保管してください。  
ご家庭でのみご使用ください。



本製品のご使用前にすべての部品と付属品がそろっていることをご確認ください。  
仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。付属品についてのお問い合わせはP28  
のお問い合わせ先にご連絡ください。



### 各部と付属品のなまえ

- |     |                  |
|-----|------------------|
| 1   | ホース              |
| 2   | メインノズル           |
| 3   | スチームボタン          |
| 3A  | ロックスイッチ          |
| 4   | ハンドル             |
| 5   | 持ち手              |
| 6   | ノズルホルダー          |
| 7   | コード収納ホルダー        |
| 8   | 給水タンク(ボイラー)      |
| 8A  | タンクキャップ          |
| 9   | 電源スイッチ           |
| 10  | 加熱ランプ            |
| 11  | 延長パイプ(2本)        |
| 12  | モップヘッド           |
| 13  | マイクロファイバーパッド(2枚) |
| 14  | ジェットノズル          |
| 15  | 窓用ノズル            |
| 16  | 給水ジョウゴ           |
| 17  | 三角ノズル            |
| 17A | 三角ノズル専用ハードスポンジ   |
| 17B | 三角ノズル専用ソフトスポンジ   |
| 18  | ナイロンブラシ(2個)      |
| 19  | 金属ブラシ            |
| 20  | 給水カップ            |

- (1) ホース:ボイラーから出たスチームはホースを通過して安全にメインノズルに送られます。
- (2) メインノズル:スチームボタンを押すとメインノズルから強力なスチームが出ます。
- (3) スチームボタン:スチームボタンを押すとメインノズルからスチームが出ます。
- (3A) ロックスイッチ:ロックスイッチを手前に押すとスチームボタンがロックされ、スチームボタンを押さずに継続してスチームを出すことができます。
- (4) ハンドル:ハンドルは熱くならない安全仕様になっていますが、長時間使い続けると人によっては低温ヤケドを負う可能性があります。違和感や熱いと感じた場合、直ちに使用を中止してください。
- (5) 持ち手:持ち運ぶ時に便利です。
- (6) ノズルホルダー:ノズルホルダーはメインノズルのホルダーとして使います。
- (7) コード収納ホルダー:保管時にコードを巻き付けて保管できます。小さなブラシなどの付属品入れとしても使用できます。
- (8) 給水タンク(ボイラー):給水タンク内の水はボイラーで加熱されスチームになります。スチームを最適に出すには、ボイラーの水位は1,500mlを超えてはいけません。
- (8a)タンクキャップ:タンクキャップは給水タンク内部にスチームが安全に溜まるように設計されています。タンクキャップを外してから給水タンクに水を入れてください。
- (9) 電源スイッチ:電源スイッチ(9)は電源の入/切をし、電源が付くと本体の加熱ランプが点灯します。
- (10) 加熱ランプ:給水タンクのボイラーが水を加熱している間、加熱が光ります。スチーム使用可能になると加熱ランプは消えます。スチーム使用中に加熱ランプが光る場合があります。
- (11) 延長パイプ:延長パイプをメインノズルに取り付けると床のモップがけや高いところなど手の届きにくい場所に届きます。
- (12) モップヘッド:モップヘッドを延長パイプに取り付けてご使用ください。
- (13) マイクロファイバーパッド:マイクロファイバーパッドをモップヘッドに取り付けてご使用ください。
- (14) ジェットノズル:ジェットノズルをメインノズルに取り付けるとスチームの圧力が上がります。また、付属品のブラシやハードスポンジを取り付けることができます。
- (15) 窓用ノズル:窓用ノズルをメインノズルや延長パイプに取り付けると、鏡や窓などガラスの掃除ができます。
- (16) 給水ジョウゴ(20)と給水カップ:給水ジョウゴと給水カップは給水タンクに水を入れる際にご使用ください。常に給水タンクには適量の水を入れてください。(500-1,500ml)
- (17) 三角ノズル:三角ノズルをメインノズルまたは延長パイプに取り付けると隅や隙間の掃除ができます。三角ノズルは様々な表面に使用できるようハードスポンジ(17a)とソフトスポンジ(17b)の2つのスポンジが付いています。
- (18) ナイロンブラシ:ナイロンブラシはジェットノズルに取り付けて、頑固な汚れやシミを落とす際にご使用ください。ナイロンブラシはご家庭のカーペット、セラミックタイル、目地などのさまざまな表面に最適です。
- (19) 金属ブラシ:金属ブラシをジェットノズルに取り付けて、ガスコンロやグリルの頑固な油汚れにご使用ください。  
注意:金属ブラシはガスコンロやグリル以外ではご使用にならないでください。ステンレスなどでは表面を傷つける場合があります。材質がわからない場合は、ご使用前に目立たない場所で試してからご使用ください。



## スチームクリーナーの付属品

警告: スチームが出ているときに付属品を取り付けしないでください。

## 延長パイプ

1. メインノズルと延長パイプを一直線に置いてください。(図1)
2. メインノズルにある青いロックボタンを押しながら、1本目の延長パイプをメインノズルに差し込んでください。延長パイプをボタンに合わせ、カチッと音がするまで押しつけてください。(図1-A)
3. 2本目の延長パイプも同様に接続してください。(図1-B)

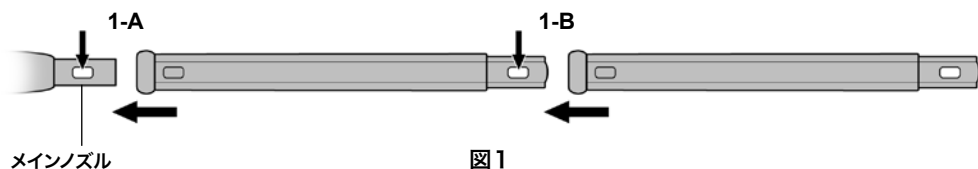


図1

## モップヘッド

1. モップヘッドの四角い穴に2本目の延長パイプのロックボタンが合うように一直線に置いてください。
2. 青いロックボタンを押しながら、モップヘッドの首を延長パイプに差し込んでください。(図2-A) カチッと音がするまで押し続けてください。(図2-B)

注意: モップヘッドの可動域は80°です。可動域を超えてモップヘッドを動かすと、モップヘッドの故障の原因となり、スチームが正常に出なくなります。

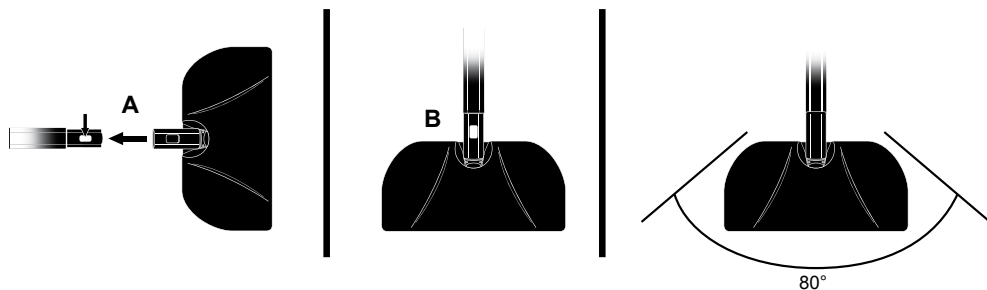


図2

可動域

## マイクロファイバーパッド

1. マイクロファイバーパッドのテープのついている面を表にして平らな場所に置いてください。
2. モップヘッドをマイクロファイバーの上に載せてください。図のように真ん中に置いてください。(図3-A)
3. モップヘッドをマイクロファイバーパッドに押しつけると取り付けられます。

警告: 使用したマイクロファイバーパッドは熱くなっていますので、気を付けてお取扱ください。

注意: マイクロファイバーパッドは洗濯機で洗えます。ゴミが他の洗濯物につかないよう他と分けて洗濯してください。液体の洗剤を使い、柔軟剤や漂白剤は使用しないでください。天日干しがお勧めですが、乾燥機を使う場合は低温で送風してください。

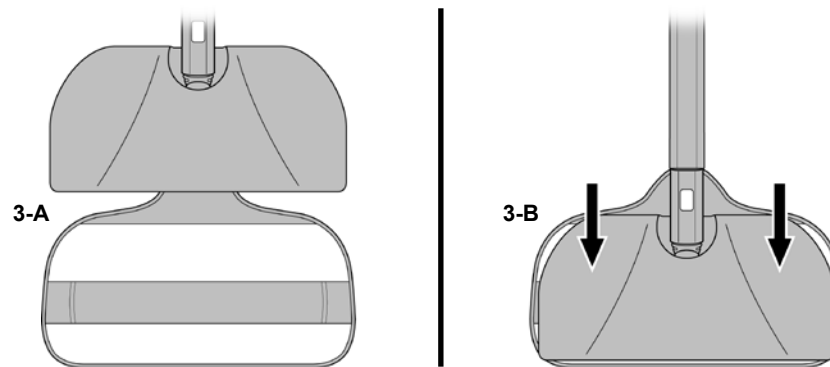


図3

モップヘッドとマイクロファイバーパッドは下記の床材にご使用頂けます。

- フロアコーティング(表面加工)の木材
- リノリウム
- 大理石
- コンクリート
- セラミックタイル
- ビニール
- ラミネート加工
- 御影石
- タイル

重要: フロアコーティング(表面加工)されていない床や素焼きのセラミックにはご使用できません。適切にコーティングされていない床は熱や湿気により変形や損傷の原因となります。木の床にご使用の際、同じ場所に長くスチームを当てると、傷んだり変色したりする場合があります。同じ個所での使用を避けてください。ワックス掛けされた床にご使用すると、光沢がなくなる場合があります。凹凸のある床の表面に使用すると光沢がなくなる場合があります。凹凸のある床の表面に使用するとマイクロファイバーパッドが破れる場合があります。



## スチームクリーナーの付属品

警告: スチームが出ているときに付属品を取り付けしないでください。

## ジェットノズル/窓用ノズル/三角ノズル

1. ジェットノズル、窓用ノズル、三角ノズルの中のどれかを選び、メインノズルに取り付けてください。四角い穴が青いロックボタンと合うように接続してください。
2. 青いロックボタンを押しながら(図4-A)メインノズルに付属品を取り付けてください。(図4-B)カチッと音がするまで押してください。

注意: ジェットノズル、窓用ノズル、三角ノズルは延長パイプの先に取り付けてご使用できます。延長パイプを取扱説明書の「スチームクリーナーの組み立て-延長パイプ」に従って接続し、付属品をメインノズルに同様にに取り付けてご使用ください。

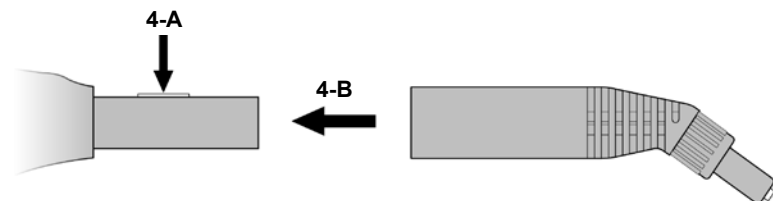


図4

## 三角ノズル専用スポンジ

注意: 三角ノズル専用ハードスポンジとソフトスポンジの取り付け手順です。

1. ストッパーを開いてください。(図5-A)
2. ハードスポンジまたはソフトスポンジを三角ノズルの上に置いてください。(図5-B) スチームが出るすべての穴を塞ぐように巻きつけてください。
3. 三角ノズルを抑えながら、ストッパーを下ろして元の位置に戻します。(図5-C) スポンジが正しく固定されているかご確認ください。

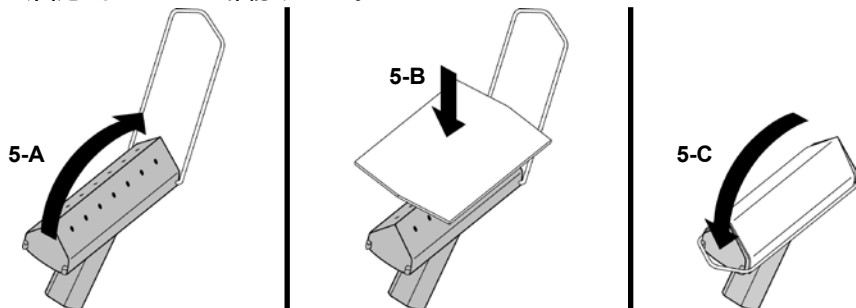


図5

## ブラシ

注意: ナイロンブラシと金属ブラシはメインノズルではなく、ジェットノズルに取り付けてください。

1. ブラシの中にある突起をジェットノズルの先端の溝(図6-A)に合わせてください。
2. ブラシをジェットノズルの奥までしっかりと差し込んでください。スチームが漏れないように正しくはめてください。(図6-B)

警告: ブラシをジェットノズルによく押し込んで、しっかり固定されていることを確認してください。ジェットノズルからスチームが漏れたり、強力なスチームでブラシが外れたりするのを防ぎます。

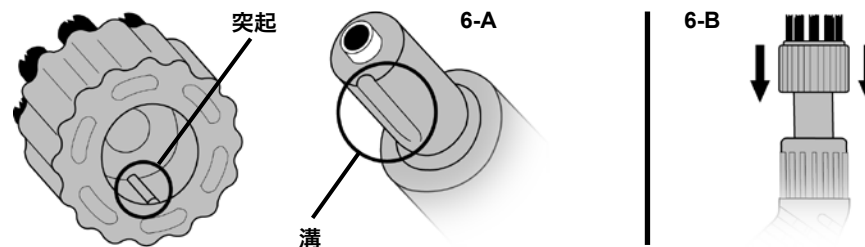


図6

## 付属品のご注文

付属品のご注文は下記にお問い合わせください。  
株式会社ネステックジャパン  
TEL: 03-6744-0349



## 給水タンクの使い方

- スチームクリーナーを平らな場所に置いてください。
- 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認し、コンセントから電源プラグを抜かれていることを確認してください。
- タンクキャップをゆっくりとゆるめて外してください。タンクキャップを反時計回りに回すと外すことができます。  
警告：使用後に水を補充する必要がある場合は、給水タンクへの水の足し方を読み、よく注意して行ってください。
- ご使用後は毎回タンク内に残っている水を流し台やお風呂場に流してください。  
注意：ミネラル(鉱物)の蓄積や水の入れ過ぎを防ぐため、ご使用後は毎回給水タンクを空にしてください。
- 給水カップの内側の線(500ml)まで水をいれてください。  
注意：給水タンクに水を入れるときは水道水を入れてください。(掃除用洗剤等を入れると本体が、破損するまたはケガの原因になります。)ミネラル(鉱物)の蓄積を防ぐためには蒸留水または 脱塩水のご使用をお勧めします。給水タンクは1,500ml以上いれないでください。  
ミネラル(鉱物)の蓄積については取扱説明書の「ミネラル(鉱物)の蓄積」をご参照ください。
- 給水ジョウゴを使い、慎重にゆっくりと給水カップで給水タンクに水を入れてください。  
危険：電気部品が破損する恐れがありますので、必ず給水ジョウゴを使って水を入れてください。
- スチームをかける時間により、下記の表を目安に水量を調節してご使用ください。  
注意：1回に使用する水量は、最大1,500 ml(給水カップ3杯分)です。水量が多すぎると、タンク内のスチームが過熱しなくなり、本体の故障の原因になったり、スチームをかける時に水が垂れたりします。

水量	スチーム時間
500 ml	約 15 分
1,000 ml (1L)	約 30 分
1,500 ml (1.5L)	約 45 分

- タンクキャップを時計回り回すと閉まります。給水タンクから熱いスチームが漏れてケガをしないようしっかり閉めてください。

## 給水タンクへの水の足し方

本体の使用後は熱いスチームが噴き出す恐れがありますので、タンクキャップのフタを開けるときは以下の注意事項に従ってフタを開け、水を足してください。

- 常に5分~10分本体を冷ましてください。
- スチームボタンを押してタンク内のスチームを空にしてください。空にしないでいるとタンク内のスチームは1時間ほど残ります。

警告：タンクキャップを外すときに、残ったスチームでケガをする恐れがありますので、ご使用後は上記の注意事項に従ってください。



## スチームクリーナーの使い方

注意：給水タンクに適量の水が入っているか、付属品がしっかり接続されているかを確認してから、次の手順に従ってください。

- 初めてご使用されるときは、電源プラグのプラスチックカバーを取り外してからご使用ください。
- 電源スイッチを「ON」にして電源を入れてください。加熱ランプが光り水を温め始めます。
- 約2~7分経つと温度が上昇し、使用可能になると加熱ランプが消えます。(給水タンクの水量により時間は異なります)  
注意：ご使用中に加熱ランプが光ることがありますが、これは正常です。スチームの圧力が下がると、加熱ランプが点灯することがありますが、そのまま続けてご使用できます。  
スチームの圧力が著しく下がったときは、一旦、加熱ランプが消えるまで待ってから、再びスチームボタンを押してスチームをかけてください。
- スチームをかける場所にノズルを向けてからスチームボタンを押してください。殺菌するには、表面から約1cm離し、ボタンを押しながら5秒間ほどスチームをかけてください。  
危険：スチームボタンを押すときは、常にノズルや付属品を安全な方向に向けてください。(人、ペット、植物から離してください。)
- スチームボタンを押し続けると継続してスチームを出すことができます。また、ロックスイッチを使用すると、スチームボタンを押し続けずに継続してスチームを出すことができます。ロックするにはスチームボタンを押し下げ、ロックスイッチを前方にスライドしてください。ロックを外すにはスチームボタンを下げ、ロックスイッチを後方にスライドしてください。
- 前後に動かしながらスチームをかけてください。スチームをかけた後、きれいな雑巾でふき取ると、さらにきれいになります。金属製品を拭く際は金属部分が熱くなるのでご注意ください。
- ご使用後は電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。(詳しくは取扱説明書の「保管の仕方」をご参照ください。)

## スチームモップとしての使い方

注意：給水タンクに水が入っているか、付属品がしっかり接続されているかを確認してから、次の手順に従ってください。スチームをかける前にほうきで刷くか掃除機をかけることをお勧めします。

- 上記の「スチームクリーナーの使い方」の手順1~3を行ってください。
- スチームモップとしてご使用の際は、前後に動かしながらスチームをかけてください。強く引っ張ったり、ゆさぶったりしないでください。モップヘッドの可動域は80°です。  
注意：フロアコーティング加工のない床や素焼きのセラミックでのご使用はできません。変形、表面の破損、あるいはワックスがけされた床の表面の光沢がなくなる恐れがあります。
- 殺菌するには表面から約1cm離し、ボタンを押しながら5秒間ほどスチームをかけてください。
- マイクロファイバーパッドが掃除中汚れや湿気を吸い取りますが、少量の水が残ることがありますので、その場合は床を自然乾燥させてください。直接その場所に扇風機をあてると早く乾きます。



## 保管の仕方

スチームクリーナーの保管準備は簡単です。ご使用後は次の手順を行ってください。

1. 電源スイッチを「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
2. 本体を冷ましてください。(約30分)
3. スチームボタンを押しながら残っているスチームを全部出してください。
4. 本体から付属品をすべて取り外してください。
5. タンクキャップを外してください。給水タンク内に残った水を流し台やお風呂場に流してください。ミネラル(鉱物)の蓄積を防ぎ、次回の使用時の水の入れ過ぎを防ぎます。タンクキャップを軽く閉めてください。  
注意: 保管する場合、タンクキャップをきつく閉めないでください。次回のご使用時に開けづらくなります。
6. 付属品は大切に保管ください。ブラシなどの小さい付属品はコード収納ホルダーの付属品入れに保管することができます。
7. コードをコード収納ホルダーにゆるめに巻き、スチームクリーナーを風通しのよい乾燥した場所で保管ください。

## ミネラル(鉱物)の蓄積

給水タンクの中に蓄積したミネラル(鉱物)を取り除くことで、本製品をより長くご使用頂けます。

ミネラル(鉱物)の蓄積を防ぐために蒸留水または脱塩水のご使用をお勧めします。水道水をご利用の際は、月に一度、次の手順でお手入れをしてください。

1. 電源スイッチを「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
2. 本体を完全に冷ましてください。(約30分)
3. スチームボタンを押しながら残っているスチームを全部出し切ってください。
4. 本体から付属品をすべて取り外してください。
5. タンクキャップを外し、給水タンク内に残った水を流し台やお風呂場に流してください。
6. 給水カップに酢を500ml入れてください。給水ジョウゴを使って給水タンクに酢を入れてください。
7. 全体に行きわたるように本体を少し揺らしてください。
8. 給水タンクの酢を捨ててください。
9. 酢のにおいが消えるまで数回給水タンクに水を入れて捨てるを繰り返してください。
10. タンクキャップを軽く締め、保管の仕方の箇所の指示に従って保管してください。

※別売りの「カルキ除去パウダー」をご使用になると便利です。



問題	原因	解決策
スチームの温度が上がらない。 電源スイッチを「ON」にしても加熱ランプが光らない場合。	コンセントに電源プラグが差し込まれていません。	コンセントに電源プラグを差し込んでください。
	ご自宅のブレーカーが落ちていたり、またはヒューズが飛んでいます。	ご自宅のブレーカー、ヒューズをご確認ください。
	本体が壊れている、または修理が必要です。	ご使用を中止してカスタマーセンターにお問い合わせください。
スチームの温度が上がらない。 電源スイッチを「ON」にしても加熱ランプが光る場合。  注意: 給水タンクの水の温度が上昇してからスチームボタンを押してください。	給水タンクに水が入っていません。	取扱説明書の「給水タンクの使い方」をご参照ください。
	ミネラル(鉱物)が蓄積されています。	取扱説明書の「ミネラル(鉱物)の蓄積」をご参照ください。
	本体が壊れている、または修理が必要です。	ご使用を中止してカスタマーセンターにお問い合わせください。
スチームの噴出力が弱い、または一時的に止まってしまう。	給水タンクの水量が少なくなっているか、水を多く入れ過ぎています。	取扱説明書の「給水タンクの使い方」をご参照ください。
	ミネラル(鉱物)が蓄積されています。	取扱説明書の「ミネラル(鉱物)の蓄積」をご参照ください。
スチームではなくお湯が出る。  注意: 本体から出るスチームは通常温っています。	ホースに水分が溜まっています。	洗面所などでスチームをすべて出し切ってから、もう一度ご使用ください。
	給水タンクに水を入れ過ぎています。	給水タンクに水を1,500ml以上入れ過ぎると、スチームの噴出に問題が発生します。常に給水カップを使って適切な量の水を入れてください。
	スチームの温度が上がっていません。	加熱ランプが消えてから再度ご使用ください。
	温度が下がったスチームが水になりマイクロファイバードに水分が含まれすぎています。	乾いたマイクロファイバードに交換してください。
メインノズルやジェットノズルから付属品が抜けてしまう。	付属品が正しく取り付けられていますかご確認ください。	付属品がノズルに正しく接続しているかご確認ください。
使用後、床にスチームの跡が残る。	マイクロファイバードが汚れています。	新しいマイクロファイバードに交換してください。
	給水タンクの中に蓄積したミネラル(鉱物)が床に出ています。	カルキ除去パウダーをご使用ください。

## カスタマーセンター

お問い合わせの際は下記情報をご準備ください。

1. 注文時のお名前
2. 電話番号
3. 注文番号
4. 不具合の内容
5. 不具合が起こった状況(使用状況、使用場所等)
6. 製造番号 (Serial Number) (本体底部記載、写真参照)



お問い合わせは:  
 株式会社ネステックジャパン カスタマーセンター  
 TEL: 03-6744-0349

保証については取扱説明書の保証書のページをご参照ください。

### 商品仕様

型番	SF-370WHDIR
電圧	100V
ワット数	1500W
アンペア	15A
給水タンク容量	1,500 ml
加熱時間	約7分
スチーム時間	約45分
重量	3.8 kg
サイズ(長さ×幅×高さ)	39.1 cm x 30.5 cm x 24.1 cm
コード長さ	4.7 m

このたびはスチームファーストDX(SF-370WHDIR)をご購入いただきありがとうございました。

保証期間はご購入より1年間となります。本製品を取扱説明書に従ってお取り扱いされ、万が一保証期間内に不具合が生じた場合は、保証期間内に限り、無償で修理・交換をさせていただきます。

保証期間内であっても、次に示すものに起因すると判定される故障は保証対象外となります。

- ・ 本取扱説明書に反する使用方法
- ・ 保守整備の不備または間違い
- ・ 弊社が提示する仕様の限界を超える使用
- ・ 弊社が認めていない改造
- ・ 純正部品および指定する油脂以外の使用
- ・ 使用者の不注意による故障
- ・ 業務で使用した場合
- ・ 経年変化により発生した不具合
- ・ 自然変色、劣化による機能低下
- ・ 品質、機能上使用に影響ない感覚的現象(音・振動など)
- ・ 天災による不具合
- ・ 薬品・塩害による不具合

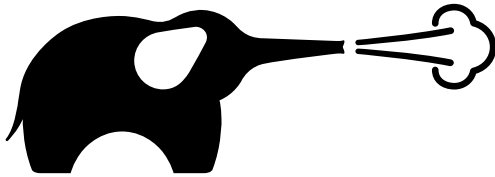
お客様お名前 \_\_\_\_\_  
 お客様ご住所 \_\_\_\_\_  
 お電話番号 \_\_\_\_\_  
 お買い上げ日 \_\_\_\_\_

保証期間: お買い上げより1年間

株式会社ネステックジャパン  
 〒231-0004  
 神奈川県横浜市中区元浜町3-21-2 ヘリオス関内ビル4F

注文確認メールは大切に保管してください。  
 お客様のご購入データは弊社で大切に保管されておりますが、注文確認メールでお知らせした注文日、注文番号は万一の故障、不良品の交換、返品の際に必要になります。電話・ファックス注文の場合は外箱に貼ってある送り状を保管ください。  
 所有者が当初のご購入者でない場合の保証継承はいかなる場合においても行っておりません。





# steamfast

powerful. natural. intelligent.®